

## はじめに

我が国の消防は昭和23年の発足以来、火災の予防・消火、救急、救助及び防災など広範な分野で強化されているところであり、本県においても、消防体制は関係機関及び関係各位の熱意と努力により年々充実・強化されてきているところです。

しかしながら、昨年は、「平成29年7月九州北部豪雨」により福岡県や大分県で、多くの方々が犠牲になるなど甚大な被害が発生しました。

鹿児島県におきましても、8月の台風第5号の接近に伴う災害により、2名の方が亡くなられたほか、7月の鹿児島湾を震源とする最大震度5強の地震観測、10月には、新燃岳において平成23年9月以来となる噴火が発生しました。

災害の態様はますます複雑多様化、大規模化の傾向にあり、南海トラフ地震や首都直下型地震などの大規模地震の発生も危惧されているところであり、地域の高齢化が進む中で消防行政をとりまく環境は一段と厳しさを増しています。

このような状況の中で、本県においては、新たな県政ビジョンにおいて「強靱な県土づくりと危機管理体制の強化」を目指し、火災予防の推進、救急業務の高度化推進、離島急患搬送体制の充実に取り組むとともに、若者や女性の消防団への加入促進等を通じた消防団活動の活性化など、関係機関・団体、住民、事業所及び消防機関が一体となって、更なる地域の消防力の充実・強化を図ることとしております。

また、市町村においては、厳しい財政状況の中ではありますが、消防施設や職員等消防力の充実に向けて着実に取り組みが進められているところです。

本書は、関係機関の協力を得て、本県の消防体制をはじめ、火災、予防、救急、救助業務の状況等を取りまとめたものです。今後の消防防災行政を推進する上で広く活用いただければ幸いに存じます。

平成30年3月

鹿児島県危機管理局長 田崎 寛二